

誰かのために

2013/4/6

合同礼拝

人は人とともに生きるように創られた

- 神様は人間を「家族」が作るように計画された
 - 「神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。」創世記1:27
- 家族を作ることで「神のかたち」になる
 - 人の最小単位は一人ではなく二人である！
- ひとりでいるのは良くない！
 - 「人がひとりでいるのは良くない。彼に合う助ける者を造ろう。」創世記2:18
- 人は、誰かと深く関わりながら生きていかなければ、神様の創造の意図にそぐわない
 - 栄光をあらわせない！

人と共に生きるための決まり

○十戒

- はじめの4つは神様との関係

- あとの6つは人との関係

- あなたの父母を敬え・殺してはならない・姦淫してはならない・盗んではならない・隣人に関して偽証してはならない・隣人の家を欲してはならない

○イエス様も確認された最も大切な二つの戒め

- 「先生、律法の中で、どの掟が最も重要でしょうか。」イエスは言われた。「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。」マタイ22章

創造の意図から離れていく社会

- 罪の結果は人間関係の破壊だった!
 - アダムとエバの信頼関係の崩壊・兄弟同士の殺人事件
- 人と関わることを避けていこうとする時代
 - 誰かと深く関わらなくても生きていける
 - 「一人世帯」の急増
 - 東京23区では2世帯に1世帯は一人世帯。全国でも1/3。
- 「リアル」な関係から「バーチャル」な関係に
 - インターネットを使ったコミュニケーション
 - 人と関わりたい気持ちと、失敗やめんどろを避けたい気持ち
ちが混じり合っている

キリストのプロジェクト

● 神様と人間の関係の回復

- 「その十字架の血によって平和を打ち立て、地にあるものであれ、天にあるものであれ、万物をただ御子によって、御自分と和解させられました。」コロサイ1:20

● 人間同士の関係の回復

- 「十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。」エフェソ2:16

● キリストの弟子に与えられた掟

- 「あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」ヨハネ福音書13:34-35

誰かのために生きる

- 人は人によって成長する
 - 「鉄は鉄をもって研磨する。人はその友によって研磨される。」箴言27:17
- 人との関わりがない人生は不幸だ
 - 「地上の地獄とは、愛のない人生のことだ。」(ドフトエフスキー『カラマーゾフの兄弟』)
- 愛するとは誰かのために自分が犠牲になること
 - 「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。」ヨハネ福音書15:16
- 愛されることを願うのではなく、愛することに生きる
 - 「受けるよりは与える方が幸いである」使徒20:35